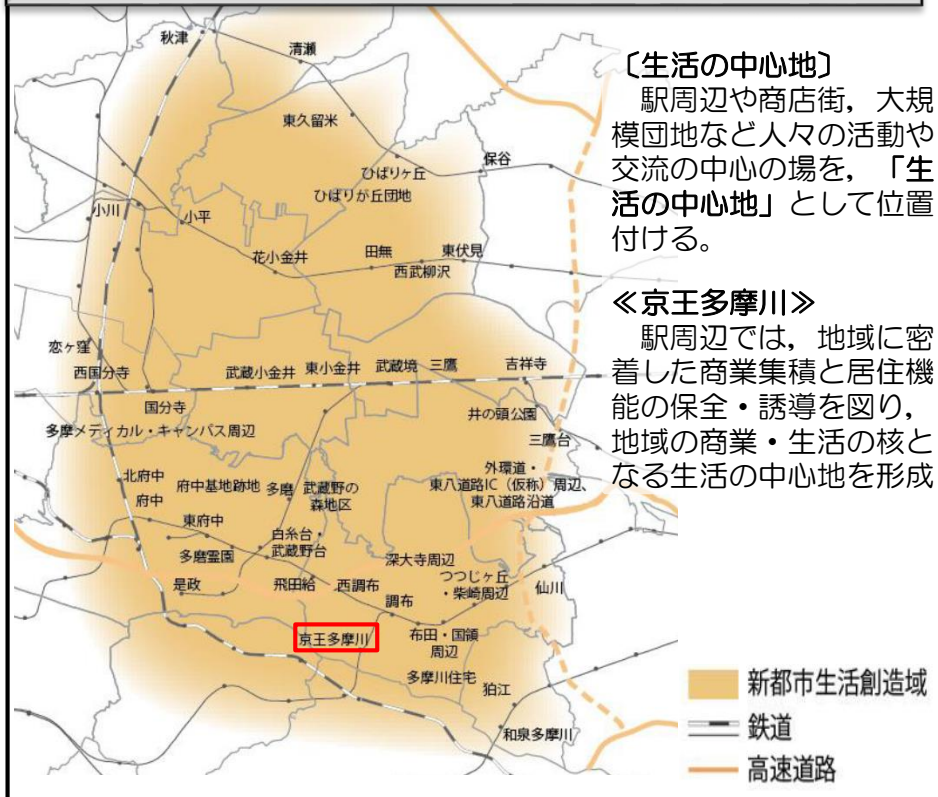
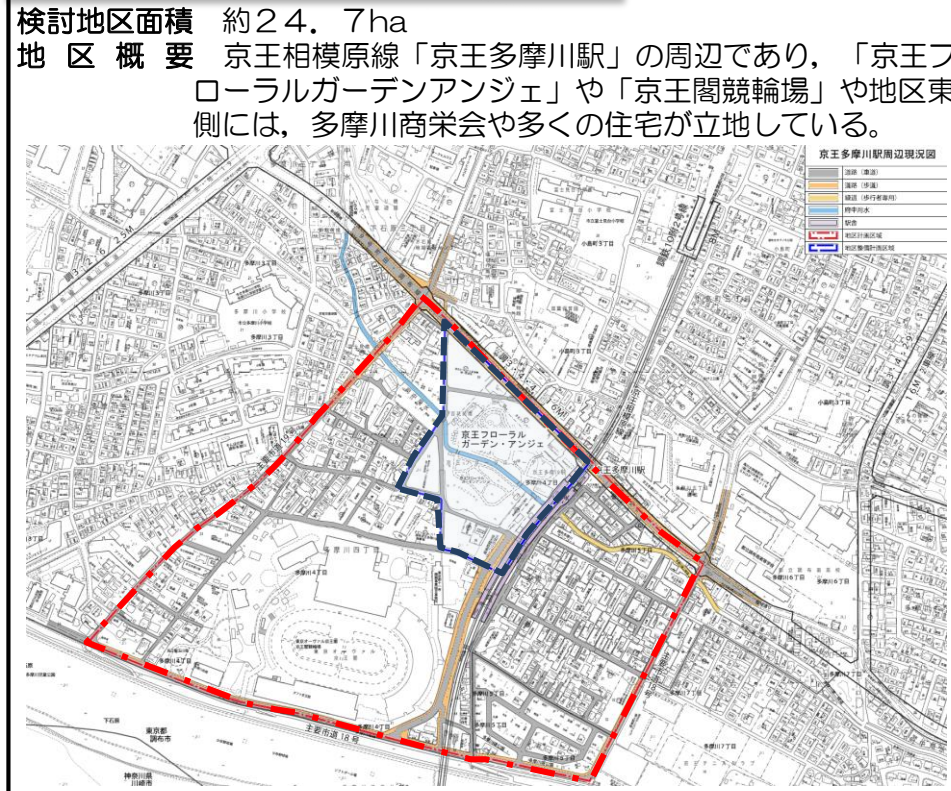


1 京王多摩川駅周辺地区のまちづくり

(1) 都市計画区域マスタープラン(東京都)の位置付け



(2) 京王多摩川駅周辺地区



(3) 経緯

- 令和元年 5月9日 第1回まちづくり懇談会(地元自治会等) 検討地区の概要について
- 令和元年 6月6日 第1回まちづくり勉強会(地元自治会等) まちづくりの目標について
- 令和元年 7月5日 第2回まちづくり懇談会(市民対象) まちづくりの進め方等
- 令和元年 7月12・13日 駅前街頭アンケート(500票)
- 令和元年 9月9日 第2回まちづくり勉強会(地元自治会等) まちづくり計画案について
- 令和元年10月17日 第3回まちづくり懇談会(市民対象) まちづくり計画案について
- 令和元年11月11日 京王電鉄(株)から「京王多摩川駅周辺地区まちづくり計画」提出
- 令和2年 1月23日 多摩川自治会・多摩川商栄会から調布市へ「京王多摩川駅周辺地区のまちづくりに対しての要望書」が提出
 - ①京王線東西の往来がスムーズにできるような通路整備
 - ②人の流れが自然にできるような駅東側道路の整備
 - ③明るいカラー舗装, 浸透性を施した道路, 街路灯の設置
 - ④多摩川を利用する人達を誘導できる適切な道路の整備
 - ⑤水害など, 防災の視点を持ったまちづくりと地域福祉・医療関連施設の誘致

(4) 地区の将来像

地域共生社会に向けた 多世代が共に生き 多様な主体が交流する コンパクトなまちづくり(案)



- ① 駅前複合拠点地区(約3.6ha)
地域共生社会のモデルとして、総合的な福祉機能や、商業、子育て支援、高齢者福祉等、日常生活に密着した商業・生活利便施設などの暮らし支援機能、駅前居住機能及び公共的な機能を誘導する。
また、多様な機能を誘導することで、多世代による賑わいを創出し、商業・住宅複合地区とともに地域全体の生活の基盤としての向上を図る。
地区における中心的な地区として、地区全体の地域づくりにつながるよう早期の拠点整備を目指す。
- ② 商業・住宅複合地区
駅前立地や商業地域としてのポテンシャルを活かし、隣接地区との回遊性を高めながら、賑わいのある商業環境の形成と住宅機能の充実を図る。
- ③ 住宅地区
低未利用地等の有効活用を適切に誘導し、定住を促進するため、周辺環境と調和する良好な居住環境を備えた、快適・安全でゆとりある低層住宅地の形成を図る。
- ④ 中高層住宅地区
ゆとりある中高層住宅と日常生活に必要な生活利便施設が調和した緑豊かで秩序ある住宅市街地の形成を図る。
- ⑤ 緑住地区
多摩川及び河川敷の豊かな緑と調和した街並みを備えた住宅の形成を図る。
- ⑥ スポーツ・レクリエーション複合地区
スポーツ・レクリエーション施設の来訪者の賑わいと、周辺居住環境との調和がとれた市街地形成を図る。

(5) 今後のスケジュール(予定)

- 【地区全体】
- 令和2年度末 街づくり懇談会(地区計画等素案) 地区全体のまちづくり・駅前複合拠点地区
 - 令和3年度 都市計画原案(地区計画等)説明会 都市計画の手続き(都協議, 案の縦覧, 都市計画審議会) 都市計画決定・告示・条例化
- 【① 駅前複合拠点地区】
- 令和3年度 土地区画整理事業 事業認可等
 - 令和4年度 工事着手
 - ～
 - 令和6年度以降 順次竣工予定
- 【②～⑥ その他地区】
- 令和7年度以降 当地区周辺住民等をはじめ、多様な主体と連携し、地区の将来像「地域共生社会に向けた、多世代が共に生き、多様な主体が交流する、コンパクトなまちづくり」の実現に向けたまちづくり活動を推進

※「今後のスケジュール(予定)」は、現時点の予定であり、今後関係機関等との協議により変動することがあります。

※ 資料の内容は、京王電鉄(株)等と協議中の内容を含んでいません。今後、変更する場合があります。

2 京王多摩川駅周辺地区 駅前複合拠点地区整備検討イメージ

※ 資料の内容は、京王電鉄(株)等と協議中の内容を含んでいます。今後、変更する場合があります。

(1) 駅前複合拠点地区整備イメージ

整備イメージ

① 地域共生支援機能

京王多摩川駅に隣接し、包括的な地域の拠点として、多世代のプラットフォームとなる、地域交流、医療、子育て支援、高齢者支援、障害者支援、生活支援など、総合的な福祉関連機能を誘導する。

＜施設イメージ例＞

- 生活利便機能：子育て支援施設、高齢者福祉施設、診療所等
- 公共的な機能：健康増進・福祉等の支援施設、集会施設等

② 暮らし支援機能

商業機能や地域に密着した生活利便機能等を導入し、京王多摩川駅周辺地区の暮らしやすさを向上させる機能を導入する。

＜施設イメージ例＞

- 商業機能：スーパーマーケット、コンビニエンスストア等
- 生活利便機能：ドラッグストア、フラワーショップ、カフェ・飲食店等

③ 居住機能

少子高齢化社会への対応や多世代ミックスによる健全なコミュニティの形成を目指し、利便性や快適性の高い、子育てや高齢者サービス等、暮らし支援機能と連携した住宅機能を導入する。

＜施設イメージ例＞

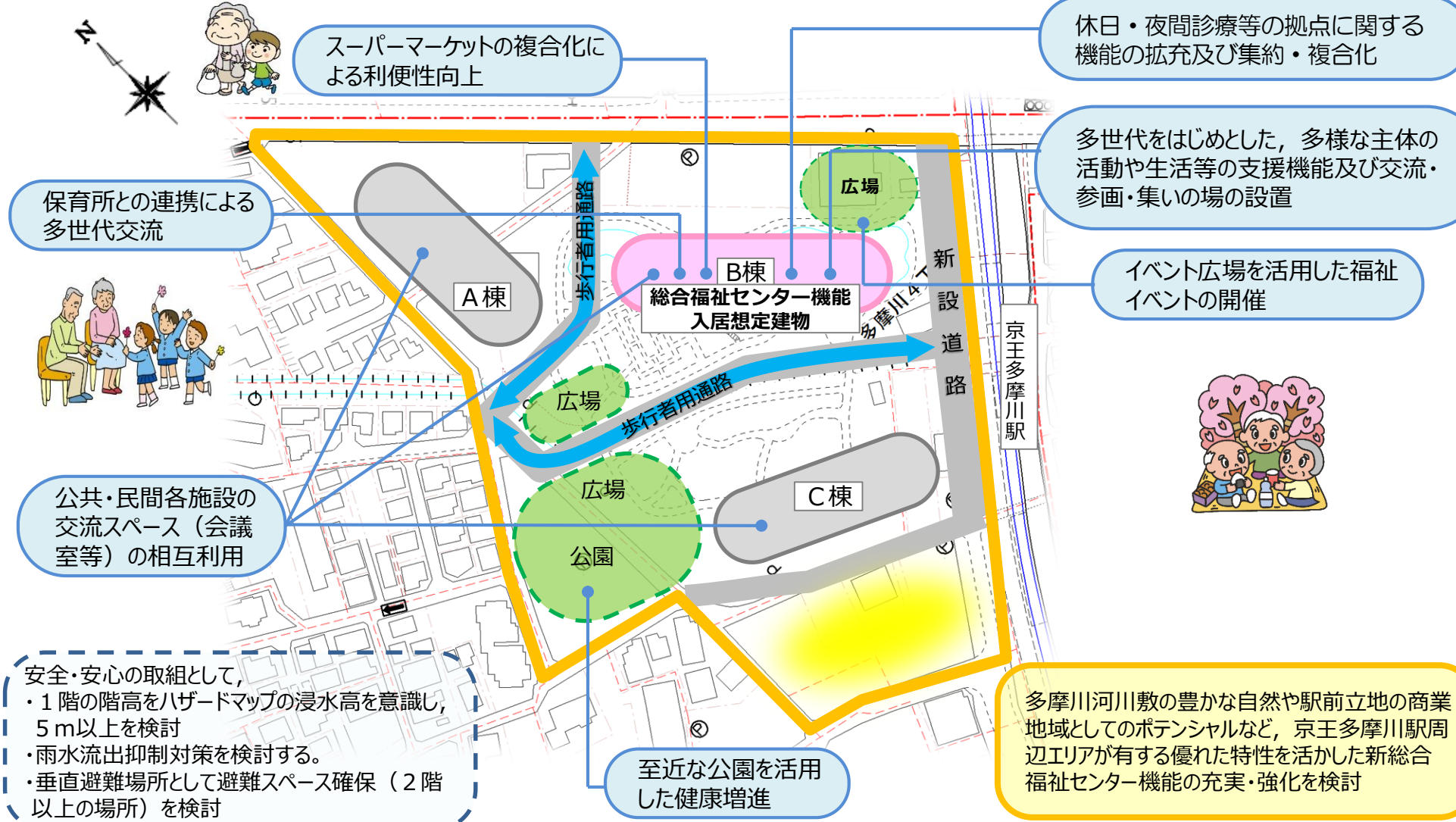
- 住宅機能：ファミリー向け集合住宅、介護付老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等

④ 憩い・レクリエーション機能

身近な公園・広場機能の導入により、周辺住民の憩い空間を確保し、交流機能の導入により、地域コミュニティの一体化・活性化を促進する。

＜施設イメージ例＞

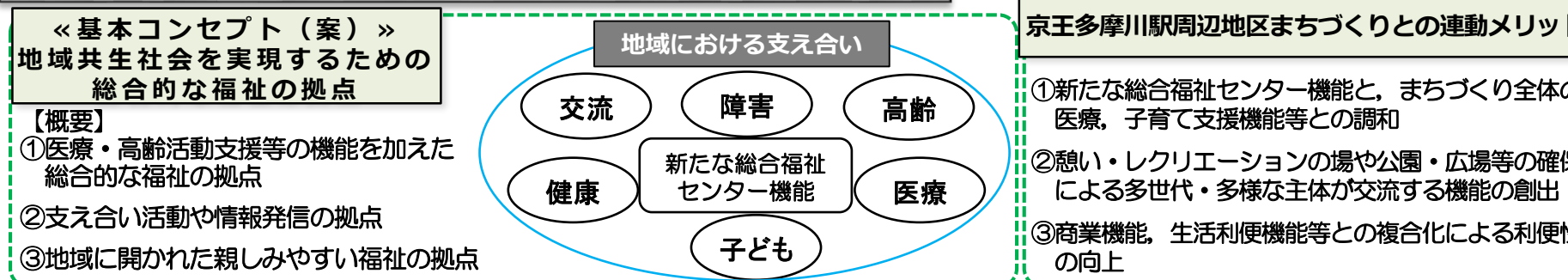
- 公園・広場機能：公園・広場、現庭園の一部活用等
- 交流・レクリエーション機能：イベント広場(盆踊りや演奏会等)、アウトドア体験施設等



(2) B棟施設機能配置イメージ



(3) 新たな総合福祉センター機能整備の検討イメージ



○機能整備に関する4つの考え方(案)と新総合福祉センターの主な機能拡充等(案)

- ①総合福祉センターの基本機能の維持・向上
各機能について、上下移動の少ない2フロアに機能を集約し、現行機能の維持を基本として一部拡充も含め床面積を確保するとともに障害者等に配慮した3mの廊下幅員(現状2.5m)の確保、駐車場や屋根のある車寄せの設置など基本機能を向上
- ②周辺福祉施設機能の集約・複合化
休日・夜間診療等の拠点に関する機能の拡充及び集約・複合化や高齢者の健康づくり、生きがいづくりに関する機能の集約・複合化による総合福祉センター機能の充実・強化
- ③地域共生社会づくりの拠点にふさわしい将来を見据えた機能改善の検討
相談室や集会室の充実など、様々な市民が利用できる施設として、地域の福祉拠点機能を強化
- ④災害対応・ユニバーサルデザイン・利便性向上
京王多摩川駅改札から最も至近距離にある棟への総合福祉センター機能の移転に加え、道路の段差解消など、まちづくり全体でユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮

○浸水対応・福祉避難所に関する考え方(案)

- ・浸水想定を踏まえ2階以上に総合福祉センター等機能を設置
- ・風水害時における発災前から発災後の段階ごとの課題分析を踏まえ、発災前から発災後の総合福祉センター機能の確保、及び福祉避難所の確保など災害時の対応策を検討

(4) 調布駅周辺の福祉機能に関する考え方(案)

- ・交流・居場所機能や福祉機能、交流機能等の一部について、調布駅周辺に確保することを検討